

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

縁をつなぐ出雲の家

グループの名称

縁をつなぐ家づくりの会

直近採択グループ番号

04-0152-0593

(グループ代表者)

代表者名

須山 政樹

代表者印

代表者所属先

須山木材株式会社

代表者所在地

島根県出雲市白枝町139番地

代表者電話番号

0853-28-0888

(グループ事務局)

事務局事業者名

須山木材株式会社

事務局担当者名

反田 和樹

印

事務局郵便番号

693-0006

事務局所在地

島根県出雲市白枝町139番地

事務局電話番号

0853-28-0888

事務局FAX

0853-28-1530

事務局担当者E-mail

tanda@suyamalumber.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工が確実となった物件のある事業所を優先して割り当てる。 ただし、複数の事業所より手が挙がった場合は過去の実績も加味し、配分を協議する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 縁をつなぐ出雲の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 縁をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0152-0593	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	島根県は多湿環境が特徴のため、長きにわたり健康で快適に過ごせる施工を目指すとともに、完成後のメンテナンス体制の充実を図る。 高気密・高断熱で夏涼しく、冬暖かい住宅と地震に強い家づくりを奨励。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域材を主要構造部の50%以上に使用する。 柱は耐雪性と耐震性を考慮し、105mm×105mmではなく、120mm×120mmを推奨する。 断熱材を積極的に使用し、1年中、島根の気候に左右されない快適な空間づくりと室内のバリアフリー化を目指す。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	島根の気候を考慮して築地松の景観に配慮した住宅とする。	○
④①～③の背景	島根県の気象は、4～9月には、地域的な差異はあまりないが、10～3月は日本海からも気流がもたらす影響で、東部になるほど厳しくなる。風は、山陽側よりも強く、冬の出雲平野に吹く季節風が強いのが特徴で、少ない積雪量であっても、強風や氷点下になることもあり、寒暖差が激しい地域と言える。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 部材の共通化を図り、最大限、地域材で賄える設計とする。出来る限り、一般流通材を資材として選択する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材は高性能なものの使用を推奨する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材に島根県産材を50%以上使用する。柱は、105mm×105mmではなく、120mm×120mmの使用を推奨する。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用する建材の調達については、グループ構成員間での取引を基本とする。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員での取引を推奨する。外部から資材の調達が必要である場合はそれを認める。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内において、グリーン化事業に関しての技術や知識の向上を図る。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 県産材の納期を把握し、その情報をグループ構成員に伝達する。また地域型住宅の供給が行える体制を整える。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工基準書の整備を検討する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主が見て、わかりやすい見積書となるよう、各事業者が体裁を整える。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 縁をつなぐ出雲の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 縁をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0152-0593	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	ジャパン建材の運営する「快適住実の家」への入会・利用を推奨する。 「住宅履歴の図書館」などで家歴を電子化して保管することを推奨する。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住宅履歴の図書館」などで家歴を電子化して保管することを推奨する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「快適住実の家」などの利用を推奨する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申込書(写)を事務局に提出する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後に向けて点検の共通ルールを作成するための情報交換会を定期的に行う。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後に向けて補修の共通ルールを作成するための情報交換会を定期的に行う。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修の報告書(写)を事務局に提出する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員に勉強会等の実施を定期的な促す。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員からの依頼があれば事務局で取りまとめをする。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産・廃業が発生した場合には、事務局が相談窓口となることを建築主に知らせておく。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険法人などに講師を依頼して勉強会を開催する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ジャパン建材の運営する「快適住実の家」への入会・利用を推奨する。 「住宅履歴の図書館」・認定住宅申請サポート・各種セミナーなどに利用できるため、必要に応じて有効活用する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ内の経験メンバーが講師となり、定期的に勉強会を開催する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の情報交換会・勉強会を適宜開催する。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 16人 今年度の参加目標人数 3人	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 開催日の周知の徹底	
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 縁をつなぐ出雲の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 縁をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2016年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0152-0593		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	主要構造材に、島根県産材を50%以上使用する。 柱は120mm×120mmの使用を推奨する。 ■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している 森林組合・原木市場 ↓ 須山木材等の製材工場 ↓ プレカット工場 ↓ 工務店 ※主要構造材で使用する地域材(県産材)については上記のような流れとなる。その他必要となる木材はグループ内からの調達を目指す。建材についても、基本的にグループ内での調達を目指す。それが困難な場合は、例外も認める。	◎
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	□ ない ■ ある → 内容: 須山木材が在庫を把握し、定期的にグループ構成員に伝達する。 ■ ない □ ある → 内容: □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 原木供給が滞る事態を想定して、常に一定以上の在庫を備える。	○
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組			
平成28年熊本地震の復興に資する取組			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 縁をつなぐ出雲の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 縁をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0152-0593	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループで取り組む木造住宅は断熱材を積極的に使用した高断熱・高気密の家を目指している。  
また夏は涼しく、冬は暖かい快適な空間づくりと室内のバリアフリー化を目指している。  
主要構造材に島根県産材を50%以上使用し、柱については、耐震性と耐雪性を考慮し、  
105mm×105mmではなく120mm×120mmを推奨している。

高度省エネ型(認定低炭素住宅:木造、新築)においては、

- ・断熱等性能等級4を満たす外皮性能とし、断熱材は高性能なものの使用を推奨する。
- ・一次エネルギー消費量等級5を満たす設備を導入する。
- ・認定低炭素住宅の選択的項目については木造住宅、節水機器導入で2項目を満たす。
- ・耐震等級2以上を推奨する。

高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅:木造、新築)においては、

- ・外皮性能(外皮平均熱貫流率UA値)は0.60以下
- ・エネルギー削減率(R)は100%以上、(Ro)は20%以上とするが、できるだけ高性能とすることを推奨する。

以上について建築主の要望を踏まえつつ環境負荷軽減を目指す。